

## 海外語学研修の報告

海外語学研修として、アメリカ合衆国ワシントン州のエレンズバーグに所在するセントラル・ワシントン大学のサマープログラムに本学から10名の学生が参加しました。学科別では、機械システム工学科1名、交通機械工学科4名、教育創造工学科5名となっています。

エレンズバーグは、シアトルから150kmほど東側にあり、車でフリーウェイを走行して2時間ほどかかります。この町は周囲を山で囲われた内陸地（盆地）で自然が豊かな田舎といった様子で、町の中心地には1950年代を思わせる街並みが残っています。

同大学のサマープログラムは、2016年8月15日～8月29日の15日間で実施され、本学以外にも日本から島根県立大学の学生36名が参加していました。

サマープログラムでは英語の学修が行われ、ESL (English as Second Language) のスタッフが担当していました。午前中は言語、文化およびコミュニケーションの3つのクラスに分けて、グループごとにローテーション形式で授業が行われ、午後からは10組のグループに分けた課題研究（リサーチ・ワーク）にあてられていました。最終日には、課題研究の発表会が行われ、参加者全員が研究成果を英語で行いました。

英語の学修以外にも、エレンズバーグ市内の探索、ノースベンド（ハイキングとショッピング）、リーベンスウォース（乗馬体験とドイツ村）およびシアトル（市場と野球観戦）の観光、ラフティングが組まれ、楽しい企画が用意されていました。また、ボーイング社の工場見学を行い、飛行機のアセンブリーラインを見ることができました。

今回の研修は、約2週間と少し長いように思われましたが、実際に参加してみると毎日のスケジュールに追われ、あっという間に過ぎてしまいました。参加した学生も充実した内容の研修を受けることができ、大変満足していました。

最後に、次年度も継続して海外研修を実施したいと思います。今回、参加できなかった学生の皆さん、次回は是非参加してください。